



6 京都市画帖

二帖

鈴木松年ほか三十六名の合作

大正四年（一九一五）

絹本着色

本紙各三二・五×四一・四

総各四〇・九×五〇・二×一〇・七

大正天皇の大礼奉祝の為、大正四年に京都市から献上された画帖である。本画帖の表紙の題箋には砂子で金雲があしらわれ、献上にふさわしく菊文様の透かし彫り金具が四隅を飾る。表紙裏は白地菊花立涌文に尾長鳥と蝶が舞い飛ぶ華やかな文様である。各帖に十八図ずつ絵が貼り込まれている。

揮毫する画家には、京都在住画家の中から帝室技芸員、文展審査員、文展三等以上の入賞歴のある画家、そして老画伯の三十六名が選出された（『美術之日本』七卷九号、大正四年九月、『美術週報』七十九号、大正四年九月）。鈴木松年、原在泉、富岡鉄斎、今尾景年、巨勢小石といった維新前から京都で活躍した大家が落ち着いた筆遣いをみせる一方で、竹内栖鳳、菊池芳文、山元春挙ら次世代の画家や、さらにその栖鳳らに学んだ西村五雲、土田麦僊、榊原紫峰といった画家たちの絵には、モチーフの単純化、色彩の明快なコントラスト、顔料を厚く塗り込めて材質感を強調するなど挑戦的な試みが認められる。このように本画帖は、伝統と革新の入り交じった当時の京都画壇の様子をうかがうことができる興味深い作品と言えよう。また大堰川、稲荷山、音羽山など京都の名勝や、大原女など京都らしい題材が多く選ばれているのも、一つの特徴である。

この時、京都市からは画帖とともに、神坂雪佳の考案による御冠棚、御文台視箱、賀表箱や、京都市立陶磁器試験場による花瓶（青磁鳳凰耳花瓶〔当館蔵〕、香炉、そして飯田新七製作の錦織物が献上された。また京都市は献上後、『獻芹餘影』という題名をつけて本画帖の記念図録を発行している。



上⑤ 竹内栖鳳 波に鶴



上⑥ 原在泉 大堰川三船御遊



上⑰ 富岡鉄斎 天露湿裳

下⑰ 榊原紫峰 叭々鳥



上① 鈴木松年 昇旭老松

上③ 星野空外 春日森



上⑩ 上村松園 母子



上⑧ 土田麦僊 大原女



下⑤ 玉舎春輝 菊使



下① 都路華香 神路山



下⑯ 西山翠嶂 花売女



下⑭ 村上華岳 耕作

- 上
- ① 鈴木松年 昇旭老松
 - ② 西村五雲 麗かな日
 - ③ 星野空外 春日森
 - ④ 池田桂仙 天長地久
 - ⑤ 竹内栖鳳 波に鶴
 - ⑥ 原在泉 大堰川三船御遊
 - ⑦ 菊池契月 翠松
 - ⑧ 土田麦僊 大原女
 - ⑨ 田近竹邨 天長地久
 - ⑩ 上村松園 母子
 - ⑪ 徳田隣斎 稲荷山
 - ⑫ 庄田鶴友 如意嶽の曙光
 - ⑬ 匹田芳沼 小春
 - ⑭ 橋本関雪 富嶽
 - ⑮ 川村曼舟 天高気澄
 - ⑯ 山下竹斎 時雨
 - ⑰ 富岡鉄斎 天露湿裳
 - ⑱ 菊池芳文 雪松水禽

- 下
- ① 都路華香 神路山
 - ② 山田耕雲 牡丹
 - ③ 今尾景年 千歳松
 - ④ 木島桜谷 富嶽
 - ⑤ 玉舎春輝 菊使
 - ⑥ 阿部春峰 双鶴
 - ⑦ 川北霞峰 皐月の頃
 - ⑧ 八田高容 夏の川
 - ⑨ 山元春拳 萬代不易
 - ⑩ 山内信一 鳳凰
 - ⑪ 巨勢小石 富嶽
 - ⑫ 小村大雲 兔
 - ⑬ 平井樸仙 音羽山の秋色
 - ⑭ 村上華岳 耕作
 - ⑮ 服部春陽 蓬萊仙境
 - ⑯ 西山翠嶂 花売女
 - ⑰ 榊原紫峰 吠々鳥
 - ⑱ 上田萬秋 耀く野辺

「京都市画帖」作者・画題一覽

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

ひろげる、たのしむ、小粋な日本画
— 近代画帖の美

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 55

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十三年七月二十三日発行

© 2011, The Museum of the Imperial Collections